

令和3年 第3回
小林市教育委員会
定例会

会 議 録

令和3年2月24日（水）

令和3年 第3回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 令和3年2月24日(水) 午後3時30分～
- 2 場所 小林市役所 3階 第3会議室
- 3 出席委員 中屋敷史生 大部菌智子 椎屋芳樹 槇光子 淵上定一郎
- 4 参与職員 押川逸夫 牧田純子 藤井寛史 谷山宏志 税所将晃 有木繁三
京保久恵
(調製職員) 川俣洋寿

5 説明職員

6 会議内容

開会 15:30

中屋敷教育長 それでは、令和3年2月17日付小林市教育委員会告示第5号で招集されました令和3年第3回小林市教育委員会定例会を開催したいと思います。それでは、議事のほうに入っていきたいと思います。

議案第8号、令和2年第1回市議会定例会(3月議会)の議決を経るべき議案の原案の決定について説明をお願いします。

牧田学校教育課長 3月定例会で議決を経るべき議案の原案について、教育委員会の承認を求めるものでございます。

2ページをお開きください。

学校教育課から説明をいたします。

令和3年度当初予算でございますが、重点事業、それから増減の大きなものを説明させていただきたいと思います。

2ページの中ほどになりますけれども、特別支援教育事業費、こちらのほうが前年比で約950万円ほどの増額となっております。この主な理由でございますが、特別支援教育支援員の数を23名から25名としたこと、それから、非常勤の職員の方の身分が、令和2年度から会計年度任用職員という新しい制度の身分になりました。期末勤勉手当が支給されるんですけども、4月から制度が始まったことで、対象の期間が令和2年度は4月から12月までの9か月だったものが、令和3年度は1月から12月までの12か月と対象期間が増えたということで、手当額の増額になったと

ころが主な理由でございます。

次に、次世代の子どもを育む学校指導体制推進事業費1,467万7,000円でございますが、令和3年度は、この事業の中で県の指定研究委託金120万円を頂きまして、前回の教育委員会で要綱の説明をさせていただきました休日の部活動の段階的な地域移行に関する仕組みづくり、この研究について取り組んでまいります。

次のページになります。3ページをお願いいたします。

小学校施設維持補修事業費（臨時）1,135万1,000円でございますが、これは、野尻小学校のブロック塀の撤去につきまして、令和2年度に隣接地の取得まで終了いたしましたので、引き続きこの改修の工事を進める改修工事費が約820万円、それと永久津小学校の体育館の床塗装工事が約220万円でございます。

それから、小学校ICT教育推進事業費3,323万円と、下から3番目の中学校ICT教育推進事業費2,330万6,000円でございます。これにつきましては、予算額の主なものはタブレット型パソコンのリース料金と、それから校内のLANの保守委託料の維持コストになるんですけども、令和3年度につきましてはGIGAスクールサポーター、この3名分を予算化できたところでございます。また、GIGAスクール推進モデル事業としまして、須木小中学校をモデル校に指定した実践研究を予定してまいりたいと考えております。

その小学校ICT教育推進事業費の下になります小学校教育振興費（臨時）913万4,000円でございます。前年度からしますと約2,100万円ほど減となっておりますが、これは、令和2年度の予算が4年に一度の小学校の教科書改訂に伴う教師用の教科書ですとか指導書、デジタル教科書等の予算であったので、通常予算に戻ったところでございます。

それから、中学校施設維持補修事業費（臨時）、こちらがゼロとなっております。これにつきましては、令和3年度予算として計画をしました野尻中学校の屋根改修工事につきまして、国の令和2年度3次補正予算により前倒しで対応することで、より有利な財源を活用できるということで国から通知がまいりましたので、当初予算ではなく、令和2年度の3月補正予算

で計上させていただいたところでございます。したがって、当初はゼロとなったところでございます。

それから、中学校教育振興費（臨時）1,773万円でございます。こちらも前年から1,600万円ほど増となっておりますが、こちらは中学校の教科書改訂の4年に一度分が令和3年度の対応が必要ということで、先ほどの小学校と替わりまして、こちらのほうが教師用の教科書、指導書、デジタル教科書等の予算を組んだところでございます。

それから、最後になります学校保健管理事業費4,640万4,000円でございます。予算額の主なものは、学校医報酬と児童生徒、先生方の健康診断の委託料ですけれども、令和3年度につきましては、この事業の中でフッ化物洗口を全小・中学校での取組を実施する予定で予算を計上しているところでございます。

続きまして、3月補正の説明をさせていただきます。

資料4ページになります。

3月補正におきまして、予算要求額がマイナスとなっているものにつきましては、当初予算の見込み減であったり、入札をした入札残があったものを減額するものでございます。学校教育課は、追加の事業もございましたので、4事業について説明をさせていただきます。

小学校施設維持補修事業費（臨時）437万8,000円でございますが、こちらは小林小学校のブロック塀につきまして、補強が必要な部分に改修工事を行う費用でございます。こちらも、この3月補正で国の3次補正予算対応とすることで、より有利な財源を活用できることから、この3月補正に計上しまして、翌令和3年度へ繰越しをしまして工事は執行する予定でございます。

その下になります小学校管理費（配分経費）（臨時）1,120万円と中学校管理費（配分経費）（臨時）の760万円でございますが、こちらにつきましては、9月補正で予算化をさせていただきました各学校の感染症対策や学習保障に必要な経費につきまして、国の3次補正予算にさらに補助金が計上されましたので、これを財源に活用しまして、学校に必要な感染症対策の消耗品ですとか備品などを購入するものでございます。こちらも予算は繰

り越して、令和3年度に執行をしていきたいと考えております。今年度整備しますタブレット型パソコンに使用しますタッチペンなども、この補助金を活用して購入する予定にしております。

中学校施設維持補修事業費（臨時）2,267万1,000円でございますが、野尻中学校体育館の屋根改修工事の費用でございます。こちらが国の3次補正予算を前倒しで活用することで有利な財源を使えるということで、この3月補正に計上しまして、繰り越して令和3年度に工事を行う予定でございます。学校教育課は以上でございます。

谷山社会教育課長 続きまして社会教育課の説明をさせていただきます。5ページになります。

5ページが令和3年度予算要求の総括表となっております。社会教育課に関しましても、社会教育施設の管理運営費といったハード事業、それから各種講座等の実施事業であるソフト事業と大きく分かれておりますけれども、昨年度と大きく変わっているものを主に説明させていただきたいと思っております。

まず、5ページの上から3番目ですけれども、事業費が459万4,000円、一般財源ベースで増減額がマイナス265万4,000円となっておりますが、こちらに関しましては、読書推進委託料を図書館管理事業費で要求するというところで、その分が219万4,000円の減額となったところでございます。

それから、社会教育振興事業費（臨時）226万3,000円、こちらは来年度へ延期となりました国民文化祭に係る費用となっております。

続きまして、文化財保存管理事業費（臨時）でございますが、86万9,000円となっております。こちらに関しましては、二原遺跡公園の11号墓の壁の貼り替え修繕の予算となっております。11号墓につきましては、屋根の改修は終わっていたところですが、壁の損傷がひどく、やはり雨漏り等で施設の損傷が危ういということで、今回、壁の貼り替えを計上したところでございます。

それから、図書館管理事業費でございますが、こちらが4,294万6,000円と昨年度よりも増額となっておりますが、読書推進委託料が219万4,000円と図書館管理事業費（臨時）で、図書の整理作業委託料172万6,000円、そち

らを合算して図書館管理事業費で賄うということで、その分の増となったところでございます。ご承知のように、来年度から、今の指定管理者が令和3年度から5年間新しく指定管理ということになりますので、今回こういう形になりました。今年度までは、指定管理の中でいろんな事業を進めていく中で、先ほどの読書推進委託と図書整理作業という事業が増えてきたために、これまでは委託料で賄っていたところですが、今回は指定管理の委託料の中へ含めていくということでございます。

続きまして、6ページになります。

図書館管理事業費（臨時）でございますが、こちら132万7,000円となりますが、こちら図書館の業務システムのハード機器の更新費用として計上しているところでございます。

次に、文化会館管理事業費（臨時）でございますが、1,497万5,000円、主なものが年次的に文化会館の老朽化に伴う改修工事を行っているところでございますけれども、令和3年度は小ホールの屋根防水改修工事、1,347万5,000円を見込んでいるところでございます。

それから、集会所運営管理費が535万6,000円となったところですが、上町の教育集会所の受付業務の委託は、昼間の間と夜間の委託をしているところですが、夜間の業務が利用も少ないということで、この分が113万4,000円の減額ということで計上しているところでございます。

続きまして、令和2年度の3月補正についてご説明いたします。7ページになります。

ほとんどが減額の要求となっております。新型コロナの関連で、施設の貸出し、施設の閉館等もございまして、電気料、水道料、光熱水費等がその分必要なくなったというものがほとんどですが、大きな減額のところでいきますと、社会教育振興事業費133万2,000円減額となっておりますが、こちら成人式が延期となったこと、それから、九州及び全国大会がなくなって、そちらに対する補助がなかったということでございます。

それから、文化会館自主事業費ですが、こちら自主事業が延期、一部中止、そういったもので252万円の減額となっております。

次の文化会館管理事業費が396万3,000円の減額ですが、これはやはり貸館

と事業の減少ということで、電気、水道料、あと舞台業務を委託しておりますが、その舞台業務に関しても少なくなったために減額をするということでございます。

それから、文化会館管理事業費（臨時）ですが、今年度は大ホールの屋根防水改修工事を行ったところですが、258万5,000円の減額は入札残によるものでございます。社会教育課は以上となります。

税所スポーツ振興課長 続きます、8ページでございます。スポーツ振興課です。

事業といたしましては、17の事業がございます。令和3年度の当初予算額の総額事業でございますが、4億2,396万2,000円で、昨年度と比較いたしますと、当初予算で779万7,000円の増額になっているところでございます。新型コロナウイルス等の影響によりましてイベント等が中止または延期となっておりますけれども、令和3年度につきましては、新しい生活様式に基づき、感染症対策を徹底した上で大会やイベント、スポーツ振興の事業に取り組んでまいります。

今年度につきましては、新規事業としましてスポーツ推進事業費の中で、幼児から低学年の子供を対象としましたスポーツ体験の事業を実施しております。これの財源につきましては、地域活性化センターからの補助を受けたものでございまして、3か年は継続して事業を進めていきたいということで予算を計上しているところでございます。

体育施設等の整備等がございますが、これらの事業につきましても、陸上競技場の改修に加えまして、写真判定機の導入や施設照明のLED化等に取組む予算になっておりまして、新たなイベント等にもつなげていきたいと考えております。

学校給食事業等につきましては、安心・安全な教室給食の提供を引き続き実施します。また、施設や備品等の計画的な更新を行っていく必要がございますので、それぞれの給食センターの管理事業費の臨時の事業のところで備品等の予算を計上しているところでございます。また、児童生徒への食育に関する授業の実施、地産地消推進員の配置による地産地消率の向上取組の予算を上げているところでございます。

続きます、9ページになります。

3月補正の総括表になっております。

事業が10事業ございます。主なものとしまして2行目のスポーツ推進事業費でございますが、1,001万7,000円の減額でございますけれども、内容につきましては、主に補助金の減額になっております。県民スポーツ祭出場補助、小中学生全国・九州大会補助、県・市町村の駅伝大会補助、マラソン大会補助、これらの大会が中止になったことによる減額でございます。その下の市民スポーツ祭事業費でございますけれども、これにつきましても、こばやし大運動会や駅伝競走大会が中止となって減額するものでございます。

その下の都市公園スポーツ施設管理事業費400万円でございますが、これにつきましては、指定管理料の増額になります。市営プールでございますけれども、コロナ感染防止のための営業を自粛した期間がございました。それに伴いまして、自主事業等の収入等が減になってしまいましたので、その補償的な意味合いにもなっておりますけれども、管理委託料を増額したものでございます。

その下の都市公園スポーツ施設整備事業費269万7,000円でございますけれども、これにつきましては、テニスコート照明のLED化に伴います設計委託料の増額予算になっております。

野尻給食センターの臨時でございますけれども、4,212万8,000円でございますが、これにつきましては、給食センターの空調設備の改修工事になっております。

東方学校給食センター管理事業費446万5,000円の減額につきましては、会計年度任用職員の勤務日数の減によるものでございます。

てなんど小学校給食応援事業費の減額につきましては、対象者数の減により減額の補正となっております。スポーツ振興課は以上です。

有木須木分室長 須木分室の予算をご説明いたします。

10ページになります。

総額で1,450万8,000円となっておりますが、主なものとしましては、事務局管理費のスクールバス運転士2名、それから会計年度任用職員1名分の人件費並びにスクールバスに係ります燃料費とか修繕料、そういった運行

経費が主なものとなっております。

それから、社会教育振興事業費につきましては41万円でございますが、これにつきましては、生涯学習、生きがい学級、すき学園の講師の謝礼ということで要求しております。社会教育指導員につきましては、社会教育課で報酬が出ておりますので、ここには上がっておりません。

それから、補正につきましては、運転手の人件費なんですけれども、通勤手当相当分の費用弁償が組んでありましたが、これが該当する運転手がないということで、その分の減額となっております。

京保野尻分室長 続きまして、教育部野尻分室です。

12ページになります。

7事業の経費を計上しております。

令和3年度当初予算要求です。総額2,021万5,000円です。事務局管理費は、会計年度任用職員1名分の報酬が主なものでございます。小学校管理費は3校分です。中学校管理費（配分経費）は、中学校は2校分です。幼稚園運営管理事業費ですが、これは学校医報酬や園での管理に使います需用費が主なものとなっております。社会教育振興事業費ですが、53万2,000円、これは生涯学習講座、生きがい学級等の開催のための経費になっております。続きまして、13ページです。

3月の補正でマイナス5万8,000円を計上しております。これは、事務局管理費において、会計年度任用職員1名を雇用し、報酬を払っておりますが、その分の通勤手当の不用分を減額しております。

中屋敷教育長 今、説明があったとおりですけれども、ご質問等がありましたら出していきたいと思えます。

大部菌教育長職務代理者 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で事業が中止になったり、延期になったりして、予算も減額になっているのが多いんですけれども、大体何%、どのぐらいの事業が中止になったのか、また延期になったのか、分かれば教えて下さい。

谷山社会教育課長 申し訳ありません。ちょっと割合ではまだ把握はできていないところなんですけれども、文化会館の自主事業で申しますと、事業が2つ実施できて、あと3月にももう一つの事業があるんですけれども、3つの事業の

実施しかできない状況であります。

それから、生涯学習に関しましても、閉館によって場所が使えなかったという点と、あと生きがい学級ですと、高齢者の方々がいらっしゃいますので、緊急事態が出ている時期とかは学級の開校は中止という形を取らせていただいております。生きがい学級で一番大きな最初の合同の開級式を5月に予定していたんですけども、それができなかった。合同のグラウンドゴルフ大会、こちらに関しては9月を予定していましたが、これを延期しまして11月には開催ができた状況ではございます。

また、貸館等で閉館、中央公民館、文化会館、あと図書館、TENAMUビルが閉館が多かったということもございまして、かなりの割合で事業ができなかったという状況でございます。

中屋敷教育長 スポーツ振興課はどうですか。

税所スポーツ振興課長 スポーツ振興課もそれぞれのイベントが多くあったんですが、基本的にいろんな大会に対する補助金等になっておりまして、今回の3月補正で減額が1,000万を超えておりますので、正確な数字は出せませんでしたので、次回に主なものを出していきたいと思っております。

中屋敷教育長 学校教育課はどうですか。

牧田学校教育課長 学校教育の分野では、やはり年度の当初は会議等とか研修が時期をずらしてずれ込んだりとか、書面での会議、決裁になったものもございました。後半では、教育フォーラムですとか研修会等は、オンラインで各学校を結んだりする形でさせていただくというような形を取らせていただいたところなんです。事業全体で中止になったものはなかったと考えております。

中屋敷教育長 社会教育課とスポーツ振興課が多かったです。ほかに何かありますか。

椎屋委員 4ページ、学校教育課分ですが、予算要求額、これは3月補正分ですが、437万8,000円の小林小学校のブロック塀ということでしたけれども、これは前々から問題になっている石を積んだところとは別のブロック塀ということですか。

牧田学校教育課長 こちらにつきましては、石塀のところではございません。学校の運動場を囲んである、東側と南側のブロック塀が適合していないということで、控え壁という強度を増す工事を組ませていただいたところでございます。

中屋敷教育長 ほかはよろしいでしょうか。(はい)

それでは、ないようですので、お諮りしたいと思います。

議案第8号につきましては、原案どおり承認してよろしいでしょうか。(はい)

続きまして、議案第9号、小林市学校施設長寿命化計画(素案)について説明をお願いします。

牧田学校教育課長 それでは、議案第9号について、学校施設長寿命化計画(素案)への教育委員会の承認を求めるものでございます。

資料につきましては、事前に計画と概要版をお配りさせていただきました。

本日は、この概要版のほうを使って説明をさせていただきたいと思います。

学校施設の長寿命化計画でございますけれども、まず、この長寿命化計画を策定する趣旨という部分を、概要版の(1)から(3)のところに書かせていただいております。計画は1ページになりますけれども、この計画の目的、それから期間、対象施設がどういったものかというような部分です。目的でございますけれども、学校施設につきましては、後ほど下のほうで出てまいりますけれども、老朽化が進んでいる現状がございます。それから、児童生徒数についても減少傾向が今後も続くと予想されているところでございます。これらを踏まえまして、安心・安全な施設環境の確保、それから教育環境の質的向上、こういったものを図っていくために、施設の長寿命化について方針を掲げるということを目的としてこの計画を策定するところでございます。

計画の期間は、令和3年度から40年間としておりますけれども、この計画につきましては10年ごとに見直しをしております。また、後ほど

(10)で長寿命化の実施計画が出てまいりますけれども、国などの動向、それから市の財政状況といったところが大きくこの施設の長寿命化に関わってまいりますので、実施計画につきましては、今後の10年間について定めさせていただいて、施設の整備を進めていくとしているところでございます。

それから、(4)からは、学校施設の実態の状況を入れてございます。(4)が児童生徒数の推移、それから(5)が学校施設の保有状況というところ

でございます。児童生徒数につきましては、計画は6ページになりますけれども、昭和50年に7,804人の児童生徒数が現在、令和2年度で3,417人と43.7%というような状況でございます。

それから、学校施設の保有状況でございますけれども、築年別に見ますと、この図のほうで桃色の色がかけてございますが、色がかけてある一番右側が築30年以上40年未満の建物で、これが14%、それから中ほどが築40年以上50年未満で約37%、そして一番左の濃い桃色が50年以上たっている建物ということで11%と、これを合計しますと、30年以上たっている建物が全体の62%ということで、老朽化が進んでいる状況というのがこちらからもご覧いただけるかと思えます。

次に、右側の(6)でございますけれども、今後これを維持していくコストというものをシミュレーションしております。まず(6)のほうは、文部科学省がこの学校施設長寿命化計画を策定するに当たって示している解説書がございますけれども、その附属ソフトを使いましてシミュレーションしたものでございます。従来型と書いてありますけれども、今までのようなやり方でやった場合どうかということでございますが、これを見ていただきますと、ちょっと字が小さくて恐縮なんですけれども、計画書だと9ページになりますので、小さい場合はそちらを見ていただければと思いますが、この40年間の総額で維持していく更新のコストが391億円という数字が出てまいりました。これを40年間で割りますと、平均して約1年間に9.8億円の費用が必要になるということでございます。そして、ちょうど今後の10年間のところを見ていただきますと、こちらに建物の改築が必要なものが集中しておりまして、直近の10年間で約19億円が必要になるというようなシミュレーション結果となったところでございます。

これらの先ほどありました児童生徒数の推移、それから施設の保有状況、そしてこの従来型のコストのシミュレーションといったところから、これまでの事後保全型のやり方では莫大な費用がかかっていくというところで、今後は予防保全型、長寿命化型の維持管理に転換が必要だというところでございます。

それでは、長寿命化の今後の予防保全型にしたときに、実際どのぐらいの維持・更新コストになるかというシミュレーションが（７）でございませけれども、こちらは、計画のほうでは15ページになっております。これは、先ほど申しあげました、文科省が示した解説書に沿いまして、長寿命化周期を40年で試算していくというところです。現段階で40年以上の建物は、60年まで使用して改築をする。40年以下の建物は40年で長寿命化をし、そして、80年まで使用するというような条件設定をしたときにどうなるかというシミュレーションをしたものでございます。これが、40年間の総額が右の青い括弧で囲んでありますけれども、360億円費用がかかるというシミュレーション結果が出ました。これを年平均しますと9億円ということになります。

先ほどの（６）の従来型とこの（７）の長寿命化型で、40年間で約31億円の縮減が図られるという結果になったわけですが、それでも予算の確保というのに相当大きなものがございまして、これが今後、課題になってくるというところが分かったところでございます。

ですので、計画の16ページに、更新コストの見通しと課題というところで書かせていただいておりますけれども、中ほど、ちょうど「ただし」というところからですが、「長寿命化を行ったとしても、これまでの投資的経費3億円に対して、9億円ですので、3倍のコストがかかることになり、予算確保が大きな課題となってきます。本計画の見直しを行っていく過程では、長寿命化、予防保全を具体的に勘案し、児童生徒の推移を注視しながら、学校施設の統廃合、他施設との複合化など併せて検討していく必要がある」としているところでございます。

この学校の施設の実態を踏まえまして、今後、どのような整備の方針かというところを（８）から書かせていただいております。計画のほうは20ページになりますけれども、（８）が学校個別の基本方針というところです。大きく3パターンに分けております。児童生徒数が今後、比較的維持されるような学校につきましては、現状の規模、それから機能を維持する。そして、老朽化に伴う改築、長寿命化、複合化を検討していくとしております。それから2番目は、児童生徒数が今後、減少することが見込まれ、そ

して施設の老朽化が進んでいる学校、こちらにつきましては、施設の統廃合や複合化、長寿命化を含めた学校の在り方を早急に検討するとしております。そして3番目は、児童生徒数が今後、減少することが見込まれ、施設の老朽化がそれほど進んでいない学校というところで、これは施設の大規模改修ですとか改築を検討する際に、施設の統廃合、複合化、長寿命化を含めた学校の在り方を検討していくという方針を立てたところでございます。

次の(9)は、その長寿命化の改修等の更新でございますけれども、ちょうど(9)の横にアスタリスクで書いておりますが、施設の機能向上を図り、80年程度の使用を目指していくという前提を置いております。

これにつきましては、計画の22ページをご覧くださいませでしょうか。

22ページの中ほどに長寿命化のパターンというところがありますけれども、最初の竣工時から経過した年数で、約20年ほどでまず機能回復を図る。そして、40年ほどで長寿命化で機能向上を図る。そして、60年目でまた機能回復を図り、80年目に解体というような大きなパターンになっております。

概要版のほうの(10)ですけれども、今度は長寿命化の実施計画ということで、先ほど(2)の計画期間のところでは触れさせていただきましたが、この実施計画につきましては、国等の動向、それから市の財政状況などから、今後の10年間について、各校どういったところの工事を進めていくかというところで記載をさせていただいております。計画のほうは23ページになります。野尻中学校体育館の屋根改修工事、東方中学校体育館の大規模改修工事、三松小学校体育館改築工事、西小林地区学校施設整備ということで、今後10年間の計画にしたところでございます。

最後になりますけれども、この長寿命化計画の継続的な運用はどうしていくのかというところでございますが、計画のほうは24ページになります。様々な関係機関との連携を図りながら、継続的な点検や効率的な運用を図っていきながら、こういった長寿命化計画を運用していくということで、推進体制のイメージもここに上げさせていただきました。

これにつきまして、本日、教育委員会で付議をさせていただきまして、ご

承認を得られた場合には、今後、市長の決裁を受けて議会のほうにも報告をさせていただきたいというふうに考えているところでございます。

中屋敷教育長 はい、ありがとうございました。

お聞きのとおりですけれども、この冊子をまとめたのがこのA3のものなんですけれども、初めてご覧になったので、分かりにくいところもあったと思いますが、質問を含めて、ご意見もあれば出していただきたいと思います。

かなり厳しい状況だというのはお分かりだとは思いますが、施設を維持していくというものは。

楨委員 この学校施設の幼稚園1となっておりますけれども、この現状と、それと入園者がいる限り野尻幼稚園はずっと続くわけですか。

牧田学校教育課長 野尻幼稚園ですけれども、現状としましては、4ページをご覧くださいますと、対象施設一覧が載っております。一番上が野尻幼稚園ですが、平成6年に建設されておまして、今27年が経過しているところでございます。

今後の幼稚園がずっとあるのかというご質問でございますけれども、幼稚園につきましては、令和3年の4月に野尻保育園が民間に移譲されるということになっておまして、その法人が5年以内に認定こども園になるということがその条件となっております。ですので、認定こども園になりますと、幼稚園機能をそちらが持つということで、その段階で、幼稚園についてはそちらに機能を移管して、施設としては閉園をするというのを今まで説明をしているところでございます。ですので、この40年間の計画ですけれども、野尻幼稚園につきましては、令和3年度から令和7年度までが最長で存続するというところでございます。

中屋敷教育長 幼稚園機能は、令和7年までに移行するということになりますけれども、その建物はまだ新しいので、どうなるかというのはまだ分からないということです。

はい、ほかにありますか。

大部菌教育長職務代理者 大変すばらしいこの計画書が出来上がっているなと思ったんですが、現在、小林市も相当年数のたった建物が多くて、この24ページの

まとめにもありますけれども、不具合が生じたときに修繕を行う事後保全ではなくて予防保全ということで、この予防保全というのがすごく大事なような気がします。素人で見ると、専門の方に見ていただき、早めに対処するとその修理費用も少なくて済むので、長寿命化を考えたときには、この予防保全はすごく大事にしてもらったほうがいいと感じました。

牧田学校教育課長 委員がおっしゃるとおりだと思います。学校は、学校施設の危険箇所点検ということで見回りを日々されているところですし、また、学校予算ヒアリング等の機会に状況を教育委員会も把握させていただいております。早め早めにそういった上がってきたものに関しては、必要なものは、専門業者等の点検等で状況を確認していくということになるのではないかなと思います。ありがとうございます。

中屋敷教育長 この長寿命化計画は、学校の校舎、プール、体育館だけですけれども、教育部は他にもスポーツ振興課や社会教育課の施設もあります。これは市長部局が策定する公共施設の個別計画に入ります。しかし、教育部と市長部局の計画を総合的に調整しないといけないので、そういう部署ができると思っています。

一番大事だと思うのが、16ページを開いていただくと、今までの40年を80年まで長寿命化させるんですけれども、それでも1年間で8,000万円ぐらいの節約はできるんですが、年間9億円は必要ということです。今まで3億円ぐらいしかハード面にはかけておりませんが、3倍必要になります。施設が全国の1.8倍小林市はあります。ですから、コンパクトに持っていけないと、財政がもたないということになりますので、ここに書いてある一番最後のところですが、学校施設の統廃合というのは、小中一貫か、義務教育学校という施設が一体化した形を造らないと、もたないだろうと思います。ですから、人数も少なくなってくるので、一つの学校になっていく可能性が大きいということと、その施設が学校機能だけではなくて、児童センターが入ったり、福祉機能を持っていたり、家庭科室がデイサービスのような、そういう高齢者に活用できるような、それで授業でも使える。つまり複合化という形に持っていけないと、それぞれ造っていったら駄目だろうということで、最後に重い言葉があるんです。

そういうことが、いろいろ話題になっていくと思うんですけども、議員の方々はどうなるだろうとか聞かれる可能性が高いと思います。方向性として16ページのような形にならざるを得ないということです。持続可能な小林市にするためには、こういう形で持っていかないと施設は苦しいですということで書いてあります。これは慎重に検討を重ねてきたということです。

あとはよろしいでしょうか。(はい)

それでは、ないようですので、お諮りしたいと思います。

議案第9号につきましては、原案どおり承認してよろしいでしょうか。(はい)

それでは、追加議案です。議案第10号、令和2年度成人式の開催日について説明をお願いします。

谷山社会教育課長 議案第10号、令和3年成人式の開催日について、令和3年成人式につきましては、令和3年1月5日に開催を予定しておりましたけれども、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりまして、令和3年8月に延期するということで昨年12月に決定をさせていただいたところがございます。

ただ、参加予定の方々、あと関係者の方々にも、8月のいつなのかを早く周知をしていかなければならないということでございまして、令和3年成人式を令和3年8月14日土曜日に開催するというご提案をさせていただいたところがございます。8月14日がお盆の時期で、13日、14日、15日なんですけれども、その中日が土曜日ということでございまして、13日に帰省されて、15日にまた帰られるということで、中日が一番いいのではないかとございまして。

中屋敷教育長 ほかにありませんか。

椎屋委員 西諸管内はどういう状況ですか。

谷山社会教育課長 高原、えびのは延期なんですけれども、時期はまだ確認を取っていないところです。

中屋敷教育長 感染拡大したらどうするかという問題もあるので、通知をするときは、日にちはそうだけれども、ただし書で「なお」というのを必ず入れておかな

いといけないというのはありますね。実施できない可能性もあるし、オンラインでやるのかもしれないし、まだ分からないですね。

また美容師、理容組合とか、連動していくことも含め、その辺はまたよろしくお願ひしたいと思ひます。

よろしいですか。(はい)

それでは、ないようですので、お諮りしたいと思ひます。

議案第10号につきましては、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

(はい)

それでは、次回開催予定をお願ひしたいと思ひます。

川俣調製職員 次回の開催につきましては、令和3年3月12日3時30分から2階の第1会議室で臨時会を予定させていただいておりますので、そちらの出席をお願ひいたします。また、3月17日が定例教育委員会ということで、開催をしたいと思ひますので、出席方よろしくお願ひいたします。

中屋敷教育長 よろしいでしょうか。(はい)

それでは、本日の定例会をこれで終わりたいと思ひます。お疲れさまでした。

閉会 16:50

教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員

調製職員